

さくら

平成 28 年 5 月 20 日号(28-03)

桜小学校 発行

文責 校長 安江 利成

<http://sakura-e.yatomi-schoolnet.jp/>

「ありがとうございました」と言うと、気持ちや気分が変わる

5月1日(日)2日(月)の両日、6年生の児童が修学旅行に出かけました。好天に恵まれ、汗ばむほどの陽気で、まさに絶好の五月晴れでした。

出発にあたって、「こんにちは」「ありがとうございます」といったあいさつをきちんとしてきましょうと話をしました。当日、子どもたちは、バスの運転手さんやガイドさん、昼食会場の方々、見学地の方々、旅館の方々等々、多くの方々に、たくさんあいさつをしました。旅館の方も、「礼儀正しい子たちですね」と話してくださいました。旅行が終わって、学校で次のような2つの質問をしました。以下は、子どもたちの言葉の一部です。

質問① 「ありがとうございます」と言った時、どのような場面でありたいと思いましたか。

- ・ バスガイドさんが見学地のことや途中にある店、芸能人の実家や四つ葉タクシー等のことを、メモを見ずに分かりやすく、一生懸命教えてください、ありがたいと思い、バスを降りるたびにお礼を言いました。
- ・ お土産屋さんでお土産を買うとき、丁寧に「ありがとうございます」と言ってもらってうれしかったし、自分も「ありがとう」という気持ちになりました。
- ・ 旅館で食事を運んでもらったり、布団を敷いてもらったり、コーヒー牛乳や八つ橋を用意してもらったりしたことに感謝して「ありがとうございました」と言いました。旅館の方も逆に喜んでくださいました。
- ・ 旅館の方が、食べやすいようにとお膳の向きをきちんと揃えて置いてくださったり、料理について分かりやすく説明して下さったりして、ありがたいなと思いました。
- ・ 見学地でメモを取りやすいようにと、ボランティアガイドさんが、ゆっくりと歩いてくださり、その思いやりに、ありがたいなと思いました。

質問② 学習面以外で、学んだことはどんなことですか。

- ・ 「ありがとうございました」や「こんにちは」は、自分から進んで言うと、言った方も相手も良い気持ちになると思いました。
- ・ 何かをしてもらったときに「ありがとうございました」を言い忘れないようにしていましたが、1回言い忘れてしまいました。なんとか心がすっきりしないことに気がきました。これからはあたり前に言えるようにしたいと思います。
- ・ バスガイドさんが、迷わないようにとゆっくり歩いて誘導してくれたり、二条城では床の音がする仕組みを縁の下まで入って説明してくれたり、バスの運転手さんが、僕たちが降りた後、バスの清掃をしてくれていたりしました。そのような熱心な仕事ぶりがすごいと思いました。
- ・ 今まであまり話したことがなかった子に自分から声をかけ、旅館でいつの間にか話していました。修学旅行でしかないことだなと思いました。家で、お母さんに良い経験になったねと言ってもらえました。
- ・ お互いに優しい言葉で、「私さっきやらせてもらったから、次がまんするよ」といったように、交代でやったり、相手のことを思いやったりすることができました。優しさと勇気、思いやりのすべてが協力する心からできていると思いました。
- ・ 「ありがとうございました」と一言でも誰かに言うと、気持ちや気分が変わるなと思いました。あらためて大切な言葉だと思いました。



今回の修学旅行で、子どもたちは、自分たちのために配慮して下さったことや準備して下さったこと、友達の優しさなど、直接は見えにくいところに感謝したり、あらためて確認したりすることができたようです。旅行に行って、ただ楽しかったというだけではなく、貴重なことを学んできました。素晴らしいことです。きっと、自分がしてもらってうれしいことを人にしてあげられる、心優しい人になっていってくれることでしょう。

